

第3回議会モニター会議(第2期記録)

- 日 時 令和6年11月13日(水)10時00分～11時27分
○場 所 市役所4階(本会議場、全員協議会室)
○参加者
議 員 13名: 司会進行 薄田智 発表 渡辺栄六
記録 増子達也 筧智也
八幡元弘、森本将司、丸山孝博、渡辺宏行、小野徳重、
坂上清一、渡辺秀敏、羽田野孝子、坂上隆夫
モニター 5名

【次第】

- 1.開会(会場:議場)
- 2.あいさつ
- 3.集合写真
- 4.議題(会場:全員協議会室)
 - (1) モニター意見を反映した取組について
 - (2) 市議会ホームページ・市議会フェイスブックのアンケート結果について
 - (3) 意見交換
- 5.その他
- 6.閉 会

【モニターの意見を反映した取組について】

○モニター

小学生や中学生に対してどのような取り組みをしているのか。

⇒議員

中条高校と議会との交流を持ちたいと思っている。手始めに第4回定例会(12月議会)の最終日に中条高校の吹奏楽部を議場にお招きし、演奏してもらう予定である。その後、できれば中条高校との意見交換会を行いたいと思っている。残念ながら、小学校についてはまだ具体的な予定はない。

【市議会ホームページ・市議会フェイスブックのアンケート結果について】

○特に意見なし

【市議会ホームページについて】

○モニター

スマートフォンで閲覧することが多いと思うが、スマートフォンでの見え方を確認したほうが良いと思う。文字情報が多く、同じテンションで書かれているので、興味を持っている方でなければその先を閲覧しに行かないのではないか。また、ホームページで各議員の質疑のリンクが貼られていない。すぐに見たいのに見れない。議会報は見れるようになっているようだが。

⇒議会事務局

ホームページで一般質問がリンクされていないとの質問のようだが、ホームページはまだリンクされていない。リンクの仕方と見せ方の問題だと思う。今後どうするか考える必要がある。ホームページの構成を大きく変えなければならぬので、しばらく時間は必要だ。

⇒議員

パソコンで見るホームページとスマートフォンで見るホームページはそれぞれ変えられるのか。

⇒議会事務局

ホームページはスマートフォン対応になっている。スマートフォンで見ると自動で縦長仕様になる。質問は、縦長になると一行に収まっていたものも改行され、文字が多くなり見づらいという質問と捉えており、ホームページ作成の際にスマートフォンでの見え方の確認までは考慮していなかったもので、今後考慮していきたい。全面的な改良となると難しいので、段階的に対応しながらより良い方向に進めれば良いと思う。

○モニター

乙交流館でWi-Fiが飛んでいるが、利用時にパスワードを入れるのが大変だ。加治川の道の駅では、専用コードですぐにWi-Fiがつながる。公共の場でそのような対応ができないのか。

⇒議会事務局

市役所の庁舎内はWi-Fiは完備していますが、担当課にこういう要望があった事を伝える。

○モニター

現在のホームページは大人しか分からない。小学生用や中学生用のページもあったら良いと思う。

⇒議員

当然あったほうが良いと思う。しかし、そこまで追いついていないのが現状だ。

⇒議員

ごもっともだと思う。選挙の年齢も下がってきている。もっと身近に感じられるような取り組みを検討していきたい。

○モニター

小学生に議会を傍聴してもらったらどうか。

⇒議員

小学生との交流はない。今後の課題としたい。先生方との交流は総務文教常任委員会でありますので、小学生との交流につなげていきたい。

⇒議員

今年の第3回定例会で中条高校2年生が議会を傍聴した。今後も児童生徒たちにも興味を持ってもらえるような努力をしていきたい。

○モニター

フェイスブックのフォロワー数が54人は少ないと思う。フォロワーを増やしたり、ホームページの閲覧を増やす取り組みはしているのか。

⇒議会事務局

閲覧数を増やす取り組みとしては、議会だよりの表紙にフェイスブックの専用コードを掲載している。ユーチューブでは、一般質問の議員ごとに専用コードを作り、見やすいようにした。ホームページはURLを紙面に掲載している所であるが、さらにできることがないか確認する。

【市議会フェイスブックについて】

○モニター

フォロワー数は少ないと良い印象を持たれない。健全にフォロワーを増やしていくべきだ。例えば、子ども関係のイベント時に写真をフェイスブックに上げ（顔出し時には許可を取る）れば家族の動線もできるのではないか。

⇒議員

10月の職ナビゲーションで学生と写真を撮り、フェイスブックに上げますのでとPRした。

○モニター

フェイスブックのフォロワー数が54と少ないし、少なければ良いイメージを持たれない。議会としてインスタを始められたとのことだが、インスタとの

切り分けはどうか。また、運用方針はどうなっているか。

⇒議会事務局

確認いただくと分かるが、内容としては一緒。今月からの運用開始で実績が乏しい中、手探りでやっている。最初のうちは安全運転で進めている。

⇒モニター

インスタユーザーとフェイスブックユーザーは違うと感じ、インスタの方がより若い世代に活用されている。ホームページでの話にもあったが、子どもたち用にはインスタでインパクトや見栄えの良いものをアップし、フェイスブックには内容すべてを載せるなどして、新しい世代層を取り込むようにすると良いのでは。

⇒議員

インスタにはどういう写真や項目を載せれば興味を持ってもらえるのか。

⇒モニター

最初から拾ってもらうのは難しいので、ハッシュタグなどを利用しては。また、市内の他のインスタと紐づけするようにしては。個人でインスタを行っている議員が議会インスタのリンクを付けたりするのも一つ。議員の中でも率先してやられている方などはどうか。

⇒議員

自身も詳しくなく、写真と文章を後援会内のできる方に頼んであげてもらっているのが現状。お聴きした内容にチャレンジしてみたいと思う。

⇒議員

委員長はいかがか。

⇒議員

私もインスタやっているが、フォローしてもらうことが第一段階とのことで新しい目線となった。今はフェイスブック人口も年齢層が上がっているようで、主流はインスタと X (旧 Twitter) が現状のようなので参考にさせていただく。

○モニター

Xをされている議員は身近に感じられ親近感が湧く。

⇒議員

個人的にフェイスブックをメインに、そこから X とインスタに繋げている。そのことばかりではなく、季節感を出すなど工夫しているし、ハッシュタグも付けている。効果は定かではないが。議会として増やすのは固い部分が多いので難しいとは思いますが、例えば議会事務局に花が飾ってある、そんな何気ない部分を気軽に上げていくのも良いのではないかと。

⇒議員

議会で勉強会も可能でしょうから、ぜひ横の展開を考えてみたい。

○モニター

私もインスタ賛成派で、フェイスブックよりも気軽に友人に広げられるし展開が早い。小さなことからでもよいのでアップしてもらえると、見てくれる人も増え、フォロワーも増えると思う。

○モニター

ホームページやフェイスブックは怖かったが、インスタなら私にもできるんだと思った。

○議員

会派でやっているインスタのPRをお願いします。

⇒議員

同じような写真が多くなり地味になってしまう。時代的に難しい部分もある。インパクトのある題材を載せたいが、それもないのが現状。

⇒モニター

差し障りのない写真、例えばネクタイの写真とか。とりあえずは良い写真と数、そこにリンクを貼っていくのが良いと感じた。

○モニター

小学校や中学校、入学式・卒業式や運動会などに出席されていると思うが、そういったことを載せるだけでも、「来てくれていたんだ」と思う方がいて、伝わりやすいと思う。

⇒議員

注意しなければいけないのは顔が写っているものであり、ひとりの写真だけで紹介するのも悩みどころだ。

○モニター

個人の一日のルーティンなど載せてみたら、興味を持ってもらえる人にはありかも。

⇒議員

確かに支持者の方は見ますよね。そういったものも一つだと思う。

⇒議員

市議会のインスタと個人のインスタの境界があやふやになっていると感じる。

個人と議会、どちらでアップするかを疑問に思う人もいるのでは。

⇒議員

個人で上げておいて、議会のインスタに誘導するなどなら広がっていくのではないかと思うので、そうしていくのが良いのではないか。

○モニター

提案だが、子ども向けのホームページ作成に関して、コンテンツ作成とか食料農業大学のサークルなど有志を含めて考えていくなど学生の教育にもなると思うので、今後どこかで相談させてほしい。お互いウィンウィンな関係を築いていきたい。

⇒モニター

大学生の皆さんとともに、小中学生の意見も取り入れるとか、あるいは一緒に作るというのも良いのでは。そんな会を催しても良いのでは。

⇒モニター

一回で完成させるのではなく、継続的に無理のない範囲でやれたら良いかもしれない。

○議員

議員も本日の内容を参考にしてやる気を出していくことが大事で、思いを新たに取り組むというのはいかがでしょうか。

⇒議員

詳しくないので皆さんすごいと思っていた。これを機会に苦手な部分に取り組んでみたい。

⇒議員

委員長はどうでしょうか。

⇒議員

議長より若い人にも見てもらえるようにという話で始まったインスタだが、なぜ若い人たちがインスタを見るのかを分析しては。字を読むのが面倒なら写真から入ったりとか。絵面が地味なのはやむを得ないと思うが、なんとか訴求力を求めていったら良いのではと感じた。

○議員

議会報での取り組みは何かあるか。

⇒議員

表紙ページに専用コードがあり、今後、インスタの内容と文字媒体がリンクするなど手に取ってもらえるように努めていきたい。また、今回の議会報から

方言のコーナーを新設し、今まで興味を持たなかった方々にも興味を持ってもらえるよう進める。

⇒モニター

今の文字を読むのが苦手というのは、僕も含めてその傾向があって、インスタに投稿される際も、長い文章だと読み疲れてしまうので、改行を多めにする
と良い。見せ方は大事。

○モニター

商売されている方の中には名刺に専用コードを付けている場合がある。議員は名刺を配ることがよくあると思うので、名刺を渡すたびに更新するなど意識したりすると良いのでは。

⇒議員

確かにそういった活用も必要に思う。

○モニター

選挙の話で恐縮だが、被選挙権年齢が下がった中で、高校生や大学生は日曜日に投票に行くのは大変だ。期日前投票を周知するとか、移動投票所で大学に行くなどするのはどうか。

⇒モニター

今の話に関する情報提供として、当学一年生の今回の衆議院議員選挙投票率は三割を切った。また、3年生のある科の生徒たち60人弱でも三割程度であった。今の時代、高校生から違う地域に行くことも多くあり、帰属意識や地域への一体感が希薄なままになってしまう。中学・高校のうちから発信をしっかりとやって、選挙の際は地元に戻るなどの意識を高めると地域に元気が出てくるのではないか。